

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」

議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
2-2	2款1項5目(企画費) 210-104-1	まちづくり総合支援事業(地域づくり・集落支援員)

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	17	地域を維持、活性化する人材の育成は必要である。 地域の実情、自主性に合わせて配置を検討すべきであるが、集落支援員については、2地区のみの配置となっており、活動の意義がよく理解できない。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	13	どのようなことで集落支援委員を配置するのか、必要性の意義を地域全体、各地区で検討し、共通認識を持つことが必要。 集落支援員の配置を基本とした地域づくりセンター構想が見えてこない。 今後は地区の存続について町の支援は必要になる。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	10	2地区のみの配置では、総合的な判断は出来ず、効率性を判断できない。集落支援員に町として何を望むのか、地域として何をしてほしいのかを明確化することにより効率性が図れる。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	7	町全域の地区への支援員の波及があれば成果はあるだろうが、まだ、そこまでの域に達していない。当初の意気込みから事業推進が遅く、動きが見えにくい。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	47
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	④ 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	基本的には地域の課題は地域で解決すべきであるが、町全体として地域コミュニケーションをどのように構築していくのかを徹底して話し合うことが必要である。 モデル地区の成果と課題を早急に分析し、次の段階へ進む必要がある。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
1 3地区の地域づくり計画が策定されているが、今後も地区が継続していけるかは人的支援だけでなく、財政的な支援も必要となってくる。地域づくり交付金の在り方など地域支援はどうあるべきかを行政と地域が協議することが必要である。 町として従来の地域コミュニケーションを維持していくのか、コンパクトシティを構築するため新たな地域再編を構築していくのか町としての全体ビジョンを示すことが必要。地区によっては地域崩壊はそう遠からず訪れると考え喫緊の対策が必要。